



たまぼら

12月号 2019 VOL. 22

発行：東大和市社会福祉協議会

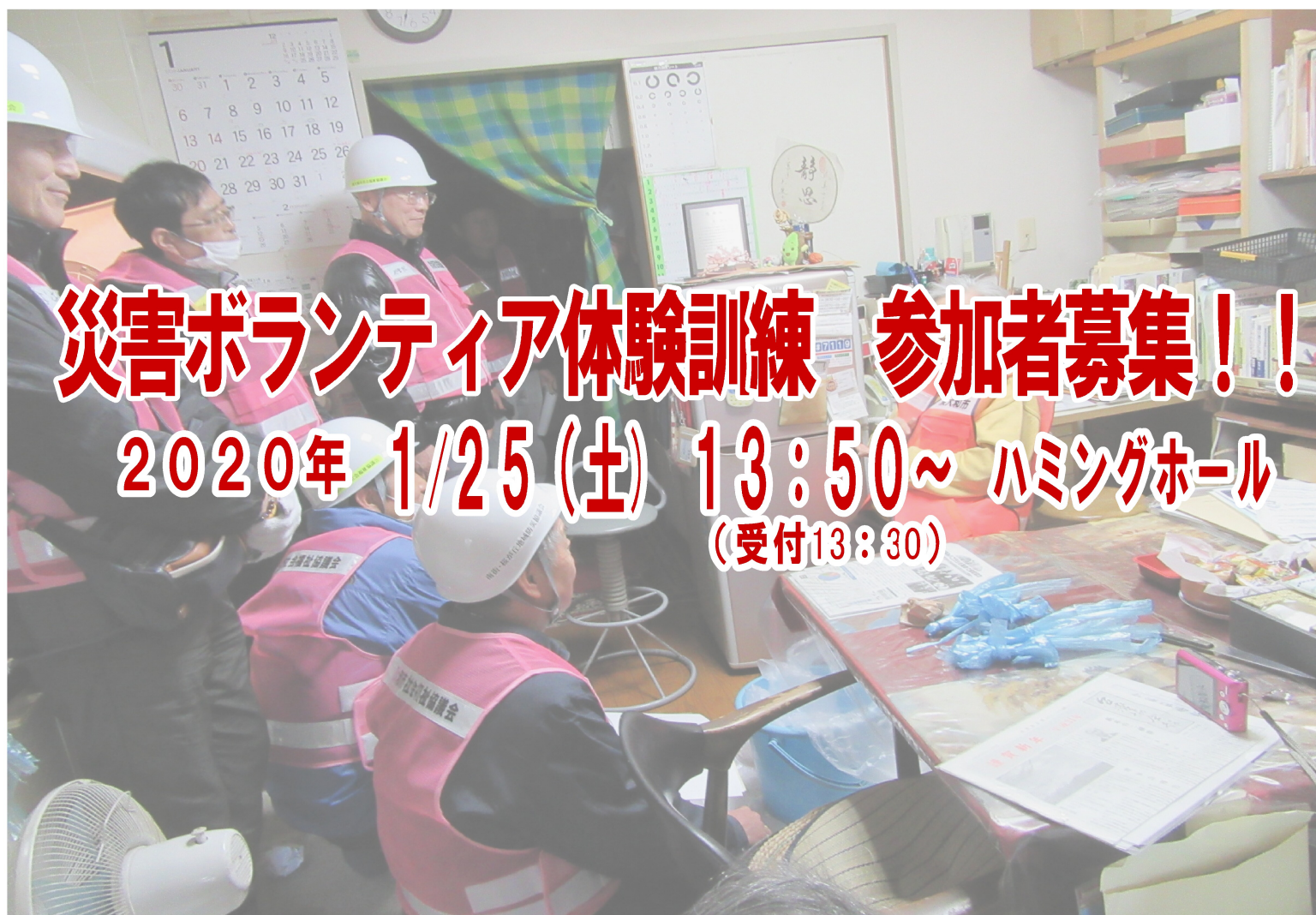
所在地：東大和市中央3-912-3

電話：042-564-0012（代表）

FAX：042-564-3680

東大和ボランティア・市民活動センター ～しゃきょうのたまちゃんがお伝える東大和のボランティア情報紙～

～明日起きるかもしれない災害に備えて～ 助けられる人から 助ける人に



災害ボランティア体験訓練 参加者募集！！

2020年 1/25 (土) 13:50～ ハミングホール
(受付13:30)

「災害ボランティアセンター」をみなさんはご存知でしょうか。災害時の復興にはボランティアの力が欠かせません。ボランティアを「必要とする人」と「活動したい人」をつなぐ場所、それが災害ボランティアセンターです。

今回は、災害ボランティアセンターに関する「災害ボランティア体験」の訓練を行います。みなさんには、ボランティア役として参加していただき災害時のボランティア体験と重要性について学んでいただきます。

※詳細については中ページをご覧ください。



災害ボランティアセンターって何をするところ？



近年、今までにない災害が多発しており各地に大きな被害をもたらしています。その復興には、ボランティアの支援が大きな力となります。

災害ボランティアセンターは、災害が起こると必要に応じて臨時的に設置され、被災され助けを必要とする人と、ボランティアとして被災地の支援をしたい人をつなぐ機関です。

被災地域が少しでも早く元の生活に戻るよう市民の皆さまの「困りごと」にボランティアとともに対応します。



訓練の流れ（災害ボランティア役(市民の皆さん)が行うこと）

■ 13:00 災害ボランティアセンターについての説明（自由参加）
※初めて参加される方はぜひご参加ください。

■ 13:30 ボランティア受付

13:50 オリエンテーション

マッチング（ボランティア活動の紹介）、送り出し



被災者（役）の自宅または避難所（想定場所）へ移動
ボランティア活動を体験



ハミングホールへ戻り、振り返り



■ 16:30

講評・閉会

定員70名

※市民の皆さんにはボランティア役として訓練に参加していただきます。



【お願い】

◆動きやすい服装でご参加ください。飲み物は各自ご用意をお願いします。

◆ハミングホールからボランティア活動先（市内各所）には自転車又は徒歩での移動となります。



訓練で体験することは？

(災害ボランティア役(市民の皆さん)が行うこと)



まずは受付を済ませ、控え室でオリエンテーションを受けます。活動する前の準備や活動中の注意等を確認します。

オリエンテーション後は活動先の内容を聞き、ご自身でどこに行くか決めていただきます。これを『マッチング』と言います。

活動場所が決まったら、細かい活動先の情報を聞き必要な道具を受け取り出発です。



災害は種類や地域の特性により様々な状況を引き起こします。訓練では、一戸建て・高層住宅・障害のある方・高齢者など、様々な状況と被災者役の方を設定しています。室内の片づけ、散乱物の除去、被災者の悩みを聞くなど、それぞれの活動を体験してもらいます。



活動のあとは、ボランティア体験者やスタッフなどが集まり、訓練を振り返ります。

訓練で得た情報や反省を皆さんで共有し今後起こりうる災害に備え、災害ボランティアセンターの運営方法や、ボランティアを必要としている被災者への支援、災害ボランティアの的確な受け入れなど必要とされることを改めて考える機会とします。



主催:東大和市災害ボランティアセンター協議会

申込み:東大和ボランティア・市民活動センター

問合せ(東大和市社会福祉協議会内)

☎564-0035 fax564-3680

※1月17日(金)までにお申し込みください。



※HPからも申込みできます。

シリーズ きらっ!!ボランティア Vol.19

今回は、社会福祉協議会で行っている事業「見守り・声かけ活動」の協力員として活動していただいている大川秀人さんをご紹介します。

【見守り・声かけ協力員を始めたきっかけは？】



近所に住む知り合いの民生委員の方から声をかけられて始めました。まだ始めてから3

か月ほどです。それまで福祉には縁がなく見守り・声かけ活動の事を全く知りませんでしたし、社協って何をしているところだろうと思いました。まずは社協を知る事からのスタートでした。

【ボランティア経験は？】

65歳で退職したことを機に地域での活動を始めようと思いました。その時に日本語ボランティアの講座を受講し活動を始めたいと考えていたのですが、上北台のある施設で開かれた「男の料理教室」に参加したご縁で、その施設の送迎バスの運転手を始めました。有償になりますが、それが初めてのボランティアです。

日本語ボランティアの活動は、送迎バスとの日程調整が難しかったので残念ながら諦めました。

【見守り声かけ活動をされて感じたことは】

まだ始めたばかりで手探りの状況ですが、今は月に1回ほど訪問しています。私の担当している方は高齢の女性で耳の聞こえの悪い方です。初めて約束の日に訪問した時は、ノックや大きな声で呼びましたが、聞こえないのか会うことができませんでした。その後再訪

問で会うことができましたが、会話がスムーズにできない程耳が遠い方でした。それから何か良い案はないかと考え、必要なことは事前に大きな紙に書いておき、紙を見せながら会話をするように工夫をしました。

見守り・声かけ活動を自分から進んでやろうとは思わなかったかもしれませんが、声をかけられて良かったと思っています。現役の時にはなかった関わりが色々でき、地域の問題にも目が向くようになりました。

【これからについて】

今も週に2～3回ほど送迎バスの運転手をしていますが、毎回利用される方に「ありがとうございます」とお礼を言われます。その言葉にとっても充実感を覚えます。退職をしても社会と関わるということの大切さを感じます。見守り・声かけ活動を始めてから他の活動にもよばれるようになりました。いつまでできるか分かりませんが、できる範囲でお手伝いしたいと思っています。

大川さん、見守り・声かけ活動にご協力いただき本当にありがとうございます。お身体にお気をつけて、今後ともご協力よろしくお願い致します。

見守り・声かけ活動



「見守り・声かけ活動」とは、地域の協力員（ボランティア）が高齢になっても地域で安心して暮らせるよう、ご本人やご家族の希望に合

わせご自宅を訪問し、声かけやお話を聞いたり、それとなく外から様子をうかがったりする活動です。



紹介

ボランティアグループ活動紹介



ボランティアによる無料学習塾 賢治の家

今回はボランティアグループ「東大和市レクリエーション協会」が行っている取組みの1つ、無料学習塾「賢治の家」の活動内容をご紹介します。

活動が始まった経緯

レクリエーション協会は遊びを提供する活動を行っており、イベントなどを実施していましたが、子どもたちがなかなか参加してくれないという課題があったそうです。そこで解決策として勉強をする機会を一緒に提供すれば、遊びも広がるのではないかと思い始めたそうです。その頃に丁度定年退職をされる知り合いの教員の方がおり、声をかけ一緒に活動へ参加していただいたそうです。

始めた当初(2013年)は、狭い協会の事務所で行っていたため子どもを少数しか受け入れできなかったのですが、翌年度より公共施設に場所を代え定員を増やし取り組まれたそうです。

子どもたちがよく遊び、よく学べることを願い活動されております。また、日常的に学習環境を提供するというのが大切だと考えておられ、今日まで続けられております。

現在の参加状況

小学生→5名、中学生→17名
(中1→6名、中2→2名、中3→9名)

ボランティア(指導者)→7名

* 通われているお子さんは概ね第1志望校に入学されているそうです。



活動日時

時間→18:00~21:00

月曜日→清原市民センター 中学生対象

金曜日→向原市民センター 小・中学生対象

学習内容

補習や都立高校入試対策のほか、行事にも参加してもらいます。(季節のイベントへの参加や、協会が行っているイベントにボランティアとして参加してもらう。)

参加方法等

○お子さんの場合○

お子さんが学習塾に参加されたい場合はまず親子で面談していただく必要があります。また商業的な学習塾に通うことが困難な方など条件もありますのでお問合せください。
※現在は教材費として実費負担がありますのでご承知おきください。

○ボランティアの場合○

現在は数学と英語を中心に教えており、それ以外の教科を教えられる方も大歓迎です。

○問合せ先○

東大和市レクリエーション協会

Tel: 090-3903-0736 飯坂

メール: yamatorec@yahoo.co.jp

子どもたちは受験などに向けて勉強を頑張っている様子でした。一所懸命な子どもたちを応援している賢治の家の活動をセンターも引き続き応援していきます。



再掲

子どもの見守りボランティア

子ども

センターでは、子どもの見守りボランティアを募集しています。

- ◆活動内容 子どもの見守り
(乳児～小学生くらい)
- ◆日時 依頼があった際に随時
多くても一か月に1回程度です。
- ◆場所 市内各地(公民館が多いです。)



【問合せ】

東大和ボランティア・市民活動センター
Tel 042-564-0035

ボランティア・

市民活動支援総合基金

「ゆめ応援ファンド」の募集中です！

2020年度

ゆめ応援ファンドは、東京都内におけるボランティア・市民活動の開発・発展を通じて市民社会の創造をめざすために、地域住民や民間団体のボランティア・市民活動に対し必要な資金の助成を行うための基金です。

【対象事業】 2020年に開始する下記事業

- (1) 学習会・研修会の開催
- (2) 調査・研究の実施
- (3) 器具・器材の開発・購入
- (4) 活動にかかわる市民への啓発の実施
- (5) ボランティア・市民活動団体による先駆的・モデル的活動
- (6) その他

【募集期日】 2019年12月13日(金)～2020年1月31日(金)

【申込み・締切】 所定の用紙に記入後郵送か持参
締切：2020年1月31日(金)

【問合せ】 〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1
東京ボランティア・市民活動センター(基金助成係)
電話03-3235-1171 ファックス03-3235-0050

※詳細はHPでご確認ください。

※東大和ボランティア・市民活動センターでも申込み用紙配布中

使用済み切手の寄付をお願いします

社会福祉協議会では使用済み切手を回収しています。

切手ボランティアさんに整理をしていただき、青梅市にある盲養護施設に寄付をしています。寄付をした切手は盲老人の福祉に役立てられています。

皆さんご協力よろしくお願いします



～ ボランティアを知ろう! ③～

その1

ボランティアの4原則って？

今回はボランティア活動における4つの決まりごとについて考えよう！！

①～自分からすすんで行動する～
「自主性・主体性」～

ボランティア活動は、自分自身の考えによって始める活動であって、だれかに強制されたり、また、義務として行わせる活動ではありません。友人から誘われたり、あるいは、たとえば学校や会社の行事として参加したり、テレビや新聞で見かけたり...。どんな小さなきっかけでも、自分自身の「やってみよう」という気持ちを大切にすることから、ボランティア活動がはじまります。

②～ともに支え合い、学び合う～
「社会性・連帯性」～

わたしたちの社会にはさまざまな課題が存在します。こうした課題を発見し、改善していくためには一人ひとりが考えることと、多くの人びとと協力しながら力を合わせて行動することが大切です。

※東京ボランティア市民活動センターHPより一部引用

